

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立津島高等学校

48

評価実施日	平成30年7月2日(月)、平成31年2月15日(金)		
委員	氏名	所属等	備考
	山本 美保	英会話塾主宰(本校学校評議員)	学校評議員
	西田 丈一	宇和島市民生児童委員	地域代表
	石畑 英則	宇和島警察署津島駐在所長	地域代表
	河野 理恵	宇和島市立津島中学校教頭	地域代表
	増原 典文	本校PTA会長	保護者代表

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒による授業評価は昨年度からほとんどの教科で上昇しているため、これまでどおり生徒一人ひとりに合った指導を考えてもらいたい。地歴・公民科の授業評価が他に比べて低いことが気になるため工夫が必要ではないか。 <p>(2) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の身だしなみは良くなってきていると思う。少人数ではあるが生徒や教員がよく努力していることが伝わってくる。 ○ 野球部のように少人数の中頑張っている部活動もあるため、生徒数を確保する工夫を進めてもらいたい。部活動については、市の新しい施設を活用しスポーツクライミング部を新設してはどうか。話題にもなるため、生徒募集につながるのではないか。 ○ 歩きスマホをしている生徒を見かけるため注意が必要。これからは交通違反として指導になることも考えられる。 <p>(3) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4年生大学への進学が少ないように思う。学力や経済的なことなど何が影響しているのか検討し、進路指導を実践してもらいたい。就職率が高いことは評価できるが、説明から離職率も高いことが分かった。出口指導だけでなく、卒業後の継続的な指導が必要ではないか。 <p>(4) 地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域のイベントやボランティア活動に積極的に参加していることを更にアピールできる場を作ればよいと思う。公民館も高校生に協力を依頼していきたい。現在は吹奏楽部に協力していただき定期演奏会を実施しているため、茶道部や卓球部にも参加してもらいたい。 <p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体験入学アンケートでは良い評価が比較的多かったが、活発な学校という評価が低いのは生徒の意欲が低いと感じられるため考えていく必要がある。生徒募集については体験入学の回数を増やしたり、市と連携したイベントを企画しアピールするなど工夫すればよいのではないか。 <p>2 学校経営への提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の分校化に関しては、学校の努力だけでは限界があるため、同窓会、地域の人たちを活用し応援を仰いでどうか。地域住民としても、地元の中学生を津島高校にできる限り多く入学させるように協力したい。 ○ 津島高校に入学すれば、何があるのか、何ができるのかなど何かトピックがあれば生徒にも勧めやすい。中学校も高校と連携して何ができるか考えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 引き続き多様な進路希望や学力に対応できるよう、類型に応じた習熟度学習指導やティームティーティングによる学習指導を継続し、分かる授業の実践に努めたい。地歴・公民科については生徒主体の興味関心を喚起させる授業となるよう工夫に努めたい。 ◎ 身だしなみについては、引き続き全教職員共通理解の下、日頃より指導の徹底を図る。部活動については、宇和島市や競技団体と連携を図りながら小規模校ならではの特色ある再編を行うなど学校の魅力化につながるよう努力する。携帯電話の使用については、校内にみならず校外でのマナー向上及び交通安全に係る指導の徹底を図る。 ◎ 4年生大学進学希望生徒に対する個別指導の充実を図るとともに、関係機関と連携し奨学金説明会等を開催することで進学支援体制を充実させる。また、生徒との個人面談を充実させ、多様な入試制度をはじめとする進路情報の提供に努める。就職に関する離職率を低下させるためには、事前の就職先の情報収集、企業への見学会への参加、卒業後における企業との連携などを系統的に進めていく。 ◎ 引き続き、ホームページ報道機関を活用した学校の諸活動紹介を積極的に行い、魅力ある開かれた学校づくりを推進する。また、多くの生徒に活躍できる場が提供できるよう関係機関と協力し、地元を中心としたイベントへ積極的に参加する。 ◎ 体験入学については日程を考慮し、より多くの中学生が参加できるよう配慮するとともに、中学校と連携を図りながら内容を工夫する。また、学校生活全般において、生徒の主体性を重視する指導を実践することで積極性や自信を身に付けさせ、活動意欲に満ちた生徒を育成する。 ◎ 魅力ある学校づくりを進めていくため、行政や地域と連携を図り個に応じた教育カリキュラムを策定するなど教育活動を充実させるとともに、効果的な広報活動に努めたい。また、生徒が主体的に活躍できる場面を多く設定することで、自己肯定感を高め、積極的な学校生活を送らせたい。